

## ③ 木材利用

## プロジェクト

## 県産材の安定供給と利用の確保

## 目標

- ・ 素材生産量 H29～R3平均：109万㎡ → R10：130万㎡
- ・ 製材品出荷量 R1～R3平均：7.9万㎡ → R10：8.9万㎡
- ・ 発電向け未利用材利用量 R4：51万㎡ → R10：56万㎡
- ・ 製材用素材入荷量 R5：161千㎡ → R10：182千㎡

## 挑戦する内容

- ・ 木材の生産振興
- ・ 木づかい運動や木育の推進
- ・ 建築物等への利用促進
- ・ 木質バイオマスのエネルギー利用促進
- ・ 外材から県産材への利用転換

関係者の声  
＝対話

- ・ 適正価格の原木の安定入手が難しい（製材業者）
- ・ 生産調整ができていない、公共建築物での利用を進めてほしい（林業事業者）
- ・ 県産材需要を喚起する施策をお願いしたい（製材事業者・工務店等）
- ・ 公共建築における県産材利用について、発注者（自治体）側の理解醸成が進んでいない（設計事務所）
- ・ 建築用材の需要減等によりチップ用材の確保に支障（チップ業者）
- ・ 県産材利用のインセンティブとなる補助事業を作してほしい（工務店）

## 役割分担

- ・ 製材業者、設計事務所、工務店、施主：県産原木、製品の利用
- ・ 県、産技センター：県産材の普及啓発、技術開発

## 変革後の姿

- ・ 県内で県産材利用が進むことにより、地域経済への波及効果が高まるほか、輸送過程のCO2が削減され、カーボンニュートラルにも貢献

## 令和8年度計画

## 挑戦する内容

- 1 木材の生産振興
  - ・ 高性能林業機械の導入支援（6台）
  - ・ 木材加工流通施設等の整備支援（製材加工施設1式）
  - ・ 経営の継続・発展に取り組む製材事業者への製材設備・機械の導入支援
- 2 木づかい運動や木育の推進
  - ・ 「あおり産木材活用建築コンテスト」の展示PR
  - ・ 県産材木材の情報誌の作成・配布
  - ・ 県外展示会への出展による販促活動
- 3 建築物等への利用促進
  - ・ 公共建築物の整備予定のある市町村長に対する要請活動
  - ・ 「青い森県産材利用推進会議」の運営
  - ・ LVLなど県産材を活用した公共施設見学会の開催
- 4 木質バイオマスのエネルギー利用促進
  - ・ 未利用間伐材等活用機械の導入支援（1台）
- 5 外材から県産材への利用転換
  - ・ 青森県で生産され、加工され、利用される木材「A-wood」を使った建築物の施工者への支援
  - ・ 「A-wood」事業を活用した施工者・施主等に対し、苗木の育成と植樹体験により、森づくりとのつながりを実感してもらう仕組みを構築



県外展示会への出展

未利用間伐材等活用機械  
(移動式チップパー)

## 対話

- ・ 部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（7月、1月）
- ・ 県産材を使った建築物の施工者や製材事業者への支援に関し、事業者から課題等の聞き取りを行い、次年度以降の事業の見直しに反映（随時）
- ・ 森林・林業・木材産業関係事業者や関係団体等との意見交換（随時）